# 大震災から４年が経過…＝支援集会**11**日、宮城県人会で



（左から）佐藤さん、永山委員長、中沢さん

東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島の３県人会や、協賛の福祉団体などで構成する「東日本大震災追悼支援委員会」（永山八郎委員長）が、震災発生からちょうど４年が経過する今月１１日に『追悼支援集会』を行なう。午前１０時からで、場所は宮城県人会館(Rua Fagundes, 152, Liberdade)。

これまではミサ中心だったが、今回は各関係者の支援活動報告を重視したものとなる。

福島県相馬市で被災した漁師を題材としたアニメ上映のほか、オイスカと名取市海岸林再生の会による植林プロジェクト、在日日系人によるＮＰＯ法人「ＡＢＣ　ＪＡＰＡＮ」、歌手・中平マリコさんらの活動報告で復興の現状を伝える。

また震災後の耕作放棄地を利用した取り組みとして、福島県では綿花栽培や綿花製品の加工・販売が行われている。ブラジルでも東京農大、コチア青年連絡協議会、農協婦人部連合会（ＡＤＥＳＣ）などと連携して支援の輪を広げたい考え。

同委員会から永山委員長（福島県人会長）、中沢宏一さん（宮城県人会長）、佐藤直さん（憩の園理事）が来社し、「復興支援者の活動報告を通し、ブラジルと被災地との関係強化を図りたい。今回の集会を契機に当地からも継続的な支援活動を！」と呼びかけた。

問い合わせは宮城県人会（１１・３２０９・３２６５）まで。